

## 2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

### ■学修領域（教育分野）

- ①電気基礎学
- ②電気エネルギーシステム工学
- ③情報制御工学
- ④電気機器・パワーエレクトロニクス工学

### ■カリキュラム編成の基本方針

本学科では、電気基礎学、電気エネルギーシステム工学、情報制御工学、電気機器・パワーエレクトロニクス工学の4領域に及び充実した専門教育を実施する。また、種々の科目と有機的に連携した実験・実習科目により、知識を応用する力を伸ばす。さらに、資格取得も積極的に支援し、就業力育成科目と連携して、志向する力・協働する力・解決する力・実践する力を身につけた、広い分野で活躍できる人材を育成する。これらの力を効率的に身につけるために、アクティブ・ラーニング、反転講義を取り入れている科目もある。また、1～3年次で学修した電気工学分野の知識・技術を総合的に応用して、問題を解決できる実践的能力を身に付けているか確かめるために、総合科目・演習を設けている。

### ■年次別科目の配当方針

1～2年次では、専門科目を理解する上で欠くことのできない数学・物理などの基礎科目と、電気回路や電磁気学などの基礎知識を習得する。また、就業力育成科目で技術者として働くための社会人基礎力を養う。

2～3年次では、電気エネルギー工学、半導体工学、システム制御工学など重要な専門科目を学習する。また、充実した実験・実習を通じてモノづくりの基礎力と応用力を養う。さらに、電験の資格取得を目指すことができる。

4年次の卒業研究では、研究の進め方や課題解決法、実験技術などを身に付ける。

### ■学修成果の評価の在り方

講義科目の学修成果は主にアセスメントテストで、演習・実験科目の学修成果は主に作品・レポートで評価する。3年次後期に、電気工学分野の知識を総合的に修得しているか、「電気工学総合」という必修科目で確認試験を行う。また、4年次終了時に卒業研究発表会において口頭試問を行う。